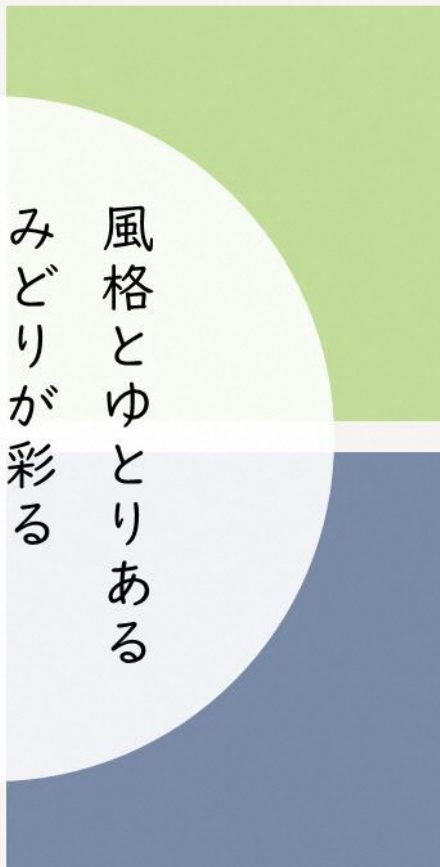
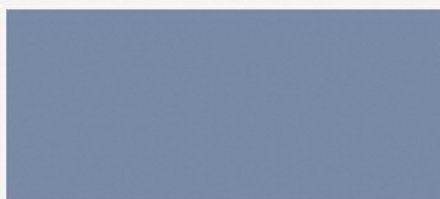
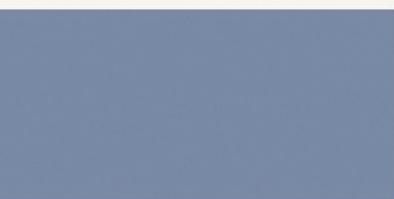
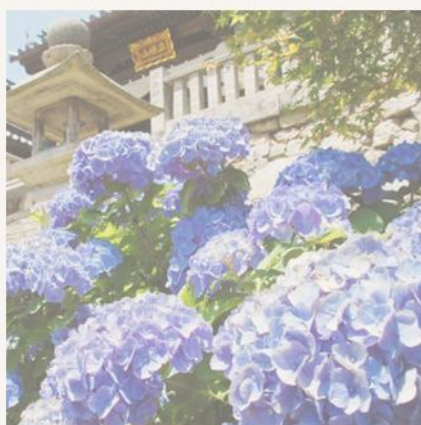
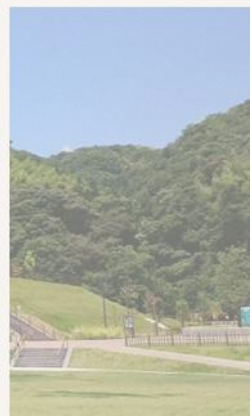


長岡京

悠久の都



みどりが彩る
風格とゆとりある



長岡京市第2次みどりの基本計画
令和8年3月
長岡京市

がして暮らしっく
長岡京

はじめに

長岡京市は、西山とその山麓に広がる竹林、小畑川や小泉川、八条ヶ池のうるおいのある水辺空間など、豊かな自然環境に恵まれています。また、平安時代初期の都城「長岡京」の地であったことから、その歴史は深く、菅原道真を祀る長岡天満宮をはじめ、「孟宗竹」発祥の地である寂照院、法然上人の立教開宗の地である光明寺などの寺社があり、境内の歴史的建造物や天然記念物の樹木などは、本市の風格のある景観を形成しています。加えて、乙訓古墳群を代表する恵解山古墳や、明智光秀とその娘の細川ガラシャに縁のある勝龍寺城は、史跡・歴史公園として整備され、市民や観光客に親しまれています。本市は、JR長岡京駅と阪急長岡天神駅、阪急西山天王山駅を中心に、住宅や商業施設が立地したコンパクトな市街地が形成されており、国道171号の縦断や、京都縦貫自動車道長岡京ICの供用開始により、生活利便の良い暮らしやすいまちとなっています。このように、豊かな自然環境に囲まれた、悠久の歴史を感じられると同時に、交通・生活の利便の良さを感じていただける、「かしこ暮らしっく」なまちづくりを進めております。



しかしながら、気候変動をはじめ、少子・高齢化の進展や生物多様性の保全などの社会情勢の変化については、本市においても影響を受けており、また、行政に対する市民ニーズの多様化など、様々な課題が生じております。このような背景から、本市では、樹木や花、公園などの「みどり」の持つ機能を有効に活用し、これらの課題に対応するために、基本方針や施策などを定めた「長岡京市第2次みどりの基本計画」を策定いたしました。本市の総合計画に掲げる将来像「住みたい 住みつけたい 悠久の都 長岡京」の実現に向けて、本計画に定めた施策を計画的に進めてまいりますので、引き続き、市民、事業者の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、「長岡京市緑の基本計画策定委員会」の委員の皆様をはじめ、多くの市民の皆様からご意見を賜りましたことにつきまして、心から感謝いたしますとともに、ここに厚くお礼申し上げます。

令和 8 年 3 月

長岡京市長

中ノ路 健吾